

いわきの SANKAKUSAN さん

～いわきの“さんかくさん”とは？～
いわきで男女共同参画を推進する活動をしている人。



いわき市消防本部
草野 鈴佳さん
(くさの すずか)
●平成20年4月入職

Q&A

Q 女性消防士に求められることは、何だと思いますか？

A その職場に男性しかいない場合、偏った考え方になってしまいがちであると思います。女性ならではの目線で意見交換をすることによって、男性には気が付かない部分をカバーすることができ、市民の皆さんが利用した時に、女性や高齢者の方が困らないような気配りができることだと思います。
また、実際に救急車や消防車の出動の際に女性消防士が乗っていると、特に相手が女性の場合、安心してもらえます。聞き取りや、身体チェックの時も、女性同士だと安心して受けてもらえます。

Q 女性が働きやすい環境づくりのために実施していることは？

A 消防職員もいわき市職員として就業規則に基づき、就業環境が整備されています。私が所属している消防本部では、女子ロッカーや仮眠室、シャワー室は男女別にありますし、シャワー室から仮眠室への動線は、男性職員と会わないように分けられています。
また、妊娠や出産、育児に関する休暇や時短勤務も取得しています。私の場合、二人の子どもの出産、育児休暇を経て3年3か月ぶりに復職したばかりです。現在は昼間の勤務の時間短縮という勤務体制で育児との両立をしています。

Q 女性消防士になってよかったことは？

A 幼稚園などの避難訓練に女性消防士が行くと、子どもたちから注目されます。女の子から私も消防士になりたい!と言われた時には、とてもうれしかったです。
また、救急現場で、「女の人でよかった」「安心した」と言われた時には、消防士になってよかったと実感したことを覚えています。
消防士は一人で活動するのではなく、チームで活動するので、体力的に劣る部分は、チームの皆が補ってくれます。チームで協力し合う職場だということです。

Q 消防士になりたいと思っている方へのメッセージ

A 消防士の仕事は、人命を守るという誇り高い仕事です。男女の関係なく必要な仕事です。消防士を目指す女性の皆さんの中には、体力面で不安になる人もいますが、私自身も運動は得意ではありませんでした。訓練で、体力を補う工夫の仕方について教えてもらい、実生活でも役に立っています。
妊娠中は、母体の保護に気を遣ってもらいました。もともと命を守る仕事をしているので、周りの皆さんも自然に気配りをしてくれたのだと思います。
これから消防士を目指す皆さん、安心して女性の方もチャレンジしてみてください。

草野さんから一言

いわき市では、女性消防士の活躍を期待して、消防署所の改築などの際に女性消防士の職員が困らないように、女性専用設備の拡充に努めています。改築計画に合わせて実施するので、全施設をまだカバーしていませんが、女性消防士の配属は、女性専用設備のある消防署所になっています。救急搬送や消火活動の際に、女性消防士を求める声も多く、期待される職種であると思われれます。

いわきのさんかくさん 募集

男女共同参画センターでは、「いわきのさんかくさん」を募集しています。
自薦・他薦は問いません。
※詳しくはセンターまで

wing

いわき市男女共同参画情報紙ーウィングー
vol.57 2022年10月 発行

編集長：加藤 藤子 編集委員：小林美智子 三戸花菜子
鈴木かおり 芳賀 順子



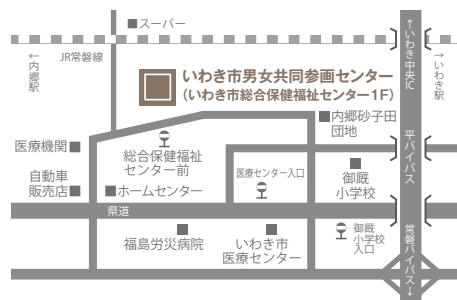
▲今号の協力者
【消防本部の皆さん】

表紙写真：芳賀順子「波」

あなたもwingに
参加してみませんか。
ご意見・ご感想を
ぜひお寄せください。
次号は3月発行です。

発行：いわき市 市民協働部 男女共同参画センター
〒973-8408いわき市内郷高坂町四方木田191番地
tel.0246-27-8694 fax.0246-27-8641
E-mail：danjokyodosankaku@city.iwaki.lg.jp

いわき市男女共同参画センターでは、男女共同参画社会についての啓発、人材育成、情報収集・提供、活動・交流支援を行っています。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。